



ちくさ咲く みち



お世話になりました。ありがとうございました。

校長 花生 典幸

この度、3月31日（日）をもちまして、わたしは教職を退き、大好きな小中野小学校とお別れすることになりました。

36年の教員生活に、まもなく終止符が打たれる……そんな思いを募らせながら日々過ごしていましたが、いざ子どもたちに会える最後の日を迎える段になると、やはりさみしさで胸がいっぱいになりました。

小中野小学校には、3年間お世話になりました。

その間、素直な子どもたちの笑顔とがんばりに心癒やされ、またいつも温かく学校を見守り、惜しみない協力を注いでくださった保護者・地域のみなさまの励ましに支えられ、なんとかここまで歩みを進めていくことができました。

本当にありがとうございました。

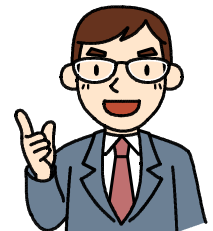
3年前は、コロナ禍真っ只中での赴任でした。ですが、わたしは、運動会も函館への修学旅行も、学習発表会、卒業式（初めて対面式で行いました）も、できうる限り通常に近い形での実施にこだわろうと考えていました。“その学年のその一年は、生涯一回しかない、それは二度と取り戻せない”。だからこそ、それらの思い出を、子どもたちにとって印象深い記憶として心に刻んであげたい、そう願っていました。

わたしのその思いに共感してくださり、折々の決断を支持していただけたことで、多くのさまざまな行事をなんとかつつがなく成し遂げることができたものと思っています。小中野という地域の“懐の深さ”を、いつも心のどこかで感じていました。今振り返ってみても、感謝の気持ちでいっぱいになります。

小中野小学校は、本当によい学校です。

子どもたちも、地域・保護者のみなさまも、そして先生方も、すべてが最高です。

それをわたしは、胸を張って、自信をもって、いつでも大きな声で言えます。そんな誇らしい思いを胸に抱いて、これからも、いつまでも小中野小学校の応援団でいようと思っています。



本当に毎日が楽しく、やりがいのある日々でした。充実した、あっという間に過ぎたような3年間でした。

お世話になりました。
ありがとうございました。